

「フリースクール等に関するモデル事業」業務委託 調査報告書

令和6年12月20日

千葉県教育委員会教育長 様

所在地 千葉市中央区新宿 1-4-10 シーガル新宿 4 階

郵便番号 260-0021

事業者名 NPO法人千葉こども家庭支援センター

代表者職・氏名 理事長 杉本景子

「フリースクール等に関するモデル事業」業務委託について、別添のとおり報告します。

【業務内容】

(1) フリースクール等と学校との連携
ア フリースクール等と学校との効果的な情報共有 ○入会に当たってのペガサスの学習方針の説明 9月以降3人の子どもがペガサスに入会した。学校へはペガサスの学習方針と指導計画について管理職（教頭先生）に話をする。千葉市内の1校については校長先生がペガサスに来室され、子どもの様子を見るとともに実際にどのように学習を進めているかを確認された。 ○日々の活動記録の報告 子どもの学習等の様子や内容は毎日記録をしている。学校では月末に出席統計処理があるのでそれに間に合うように在籍するそれぞれの学校に1か月間の在籍児童生徒の学習等の記録をパスワードをかけたメールで報告をした。（別紙：在籍児童生徒の学習等の記録報告例（K 中学校3年生の例）参照） ○定期テストや実力テストのペガサスでの実施 期末テストをペガサスで希望して受けた中学生は5校6人いたが、事前に学校の方から連絡があった学校が4校あり学校との情報共有が図られている。
イ フリースクール等における学習や活動内容が学校における適切な評価につながるための手法 ○学校の評価・評定に生かせるフリースクールからの報告 現在2人の子どもが通っている中学校と連絡を取り合い、ペガサスで現時点で提供できる各教科の学習ごとの到達度を一覧にしたものを提供できることを伝えた。まだ結論が出たわけではないが、学校が評価評定に生かせる情報として学習の到達が観点別にもらえると評価しやすいとの意見をもらっている。 ○学校の評定に対する考え方 今年の8月に改正された学校教育法施行規則において義務教育段階の不登校児童生徒について成績評価を行うにあたって、文部科学大臣が定める要件の下で欠席中に行った学習の成果を考慮することができるとの内容が明記されたことを受け、学校がフリースクールに通う子どもに対しどのような考え方で評価評定をしようと

しているのかをペガサスに通ってきている児童生徒の在籍校 14 校にアンケート調査を行った。回収は 13 校で回収率 92.8%である。(別添 1)

アンケート項目

令和 6 年 8 月 29 日より、学校教育法施行規則の一部改正が行われ「義務教育段階の不登校児童生徒について成績評価を行うにあたっては、文部科学大臣が定める要件の下で、不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果を考慮することができること」が規定されました。

1 不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果を考慮することができる文部科学大臣が定める 3 つの要件は

- ① 「学習の計画・内容が、不登校児童生徒の在籍する学校の教育課程に照らし適切と認められること」
- ② 「学校と不登校児童生徒の保護者、教育支援センター、民間団体等との間に十分な連携協力関係が保たれているとともに、学校において、学習活動の状況等の当該不登校児童生徒の状況を保護者等を通じて定期的かつ継続的に把握していること」
- ③ 「学校が、訪問による対面指導等により、学習の状況等の不登校児童生徒の状況を定期的かつ継続的に把握するとともに、不登校児童生徒と学校との適切な関わりを維持するよう留意していること」

ですが、フリースクールが関わる①と②の要件について貴校ではどのように判断していますか（判断しようと考えていますか）。

(1)①についてどのようにして判断していますか（判断しようと考えていますか）。
(複数選択可)

- a. フリースクールに指導計画や学習内容を直接確認する（電話、メール、訪問等）。
- b. フリースクールからの活動報告を見て判断する。
- c. 学習指導要領に沿って(教科書に沿って)学習が進められているか確認する。
- d. その他(下の枠に具体的にお書きください)

(2)②についてどのようにして判断していますか（判断しようと考えていますか）。
(複数回答可)

- a. フリースクールに直接連絡を取り把握する(電話、メール、訪問等)。

- b. フリースクールからの活動報告で把握する。
 - c. フリースクールで行っている独自のテストなどの点数で把握する。
 - d. フリースクールで行う学校の定期テストやワークテストで把握する。
 - e. その他(下の枠に具体的にお書きください)
- 2 現在ペガサスでは、毎日の児童生徒の活動報告を月末にメールでお送りしていますが、その報告はどのように活用していただいていますか。(複数回答可)
- a. 活動のあった日を出席の扱いとして出席簿に記入している。
 - b. 活動内容を確認して通知票や指導要録の各教科の評定に生かしている。
 - c. 活動内容を確認して通知票や指導要録の所見に生かしている。
 - d. その他(下の枠に具体的にお書きください)
- 3 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として表したりするために、国語、社会、算数・数学、理科、英語については、フリースクールからどのような情報を提供することが必要と考えていますか。(複数回答可)
- a. フリースクール独自に行っている教材のテストなどの点数化された情報。
 - b. 学習ワークやドリル、ワークテスト、プリント類など学校で他の児童生徒が行っている教材の提出。
 - c. 中間テストなどの定期テストや実力テスト、学力テストなど学校で行っているテスト。
 - d. 学習の成果を評価したり評定したりすることはできない。
 - e. その他(下の枠に具体的にお書きください)
- 4 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として表したりするために、図工・美術、技術・家庭、音楽、体育については、フリースクールからどのような情報を提供することが必要と考えていますか。(複数回答可)
- a. フリースクールで製作した教科内容に関連する作品。
 - b. 学校で共通に購入した教材などの製作物。
 - c. 学習ワークやプリント類など学校で他の児童生徒が行っている教材の提出
 - d. 定期テストなど学校で行っているテスト。

- e. 学習の成果を評価したり評定したりすることはできない。
 - f. その他（下の枠に具体的にお書きください）
- 5 保護者や児童生徒からフリースクールで中間テストや期末テストなどを受けた
いと希望があった時、どのようなフリースクールであればフリースクールでの実
施が可能ですか。（複数回答可）
- a. 学校との連携が日常的にできているフリースクール。
 - b. 学習指導を行っているフリースクール。
 - c. 学習状況や活動状況などを定期的に学校へ報告しているフリースクール。
 - d. 希望があれば特に条件はない。
 - e. フリースクールでの定期テストの実施はできない。
 - f. その他（下の枠に具体的にお書きください）
- 6 学校教育法施行規則の一部改正が行われ不登校児童生徒について成績評価を行
うにあたって欠席中に行った学習の成果を考慮することが規定されましたが、県
内には多くのフリースクールがある中、成績評価をするにあたって今後どのよう
なことを望みますか。（複数回答可）
- a. 学習の計画・内容が、市内学校の教育課程に照らし適切と認められるフリースク
ールを示すなど市としての基準を示してほしい。
 - b. 市内のフリースクールで行われている内容がどのようなものなのかをわかるよ
うな資料を市として調査してほしい。
 - c. 特に望むことはない。
 - d. その他（下の枠に具体的にお書きください）
- 7 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として
表したりするために、学校とフリースクールとがどのような連携体制をとってい
くことが必要と考えますか。（自由記述）

文部科学大臣が定める要件1「在籍校の教育課程に照らし適切に認められるこ
と」については、92.3%の学校が「フリースクールからの活動報告を見て判断する」
としており、学校との連携上定期的な活動（学習）報告は必須の条件であることが
伺われる。また、要件2「学校において学習活動の状況等不登校児童生徒の状況を

定期的かつ継続的に把握していること」については「フリースクールからの活動報告で把握する」「フリースクールで行う学校の定期テストやワークテスト等で把握する」が多くなっている。

評価評定を行うにあたってフリースクールでの学習成果として何が必要かを主要5教科と副教科に分けて質問をした。主要教科では「中間テストなどの定期テストや実力テスト等」と答えた学校が92.3%と圧倒的に多く、次に学校で使用しているワークやプリント類となっている。また、副教科では「学校で共同購入した教材などの製作物」が84.6%と一番多く、次に「フリースクールで製作した教科内容に関連した作品」が76.9%となっており、作品作りに評価評定のウエイトがあることが伺われる。

今回の学校教育法施行規則の一部改正を受けて、学校として望むこととしては「学習計画・内容が市内の学校の教育課程に照らし適切と認められるフリースクールを示すなど市としての基準を示してほしい」「市内のフリースクールで行われている内容がどのようなものであるかをわかるような資料を市として調査してほしい」が圧倒的に多く、学校が対応に苦慮している様子が伺われる。

最後に自由記述を見ても学校とフリースクールとの連携は重要であると考えている学校は多く、今後も日常的に連携を深めていくことを考えていく必要がある。

(2) フリースクール等と学校・教育委員会との協力による児童生徒の社会的自立に資する取組

○体験活動及び外部の社会教育施設の見学

7月12日：陶芸家を招いての陶芸体験教室を実施する。

○中学生保護者向けの進路面談

希望者は三者面談の形で進路相談を実施する。これまでのペガサスでの進学実績を基に進路に不安に感じていることや現状考えている進路について1時間程度の時間を設けて相談を受ける。

9月26日中学3年生女子、9月28日中学3年生男子、9月30日中学3年生男子
10月3日中学3年生女子、他の中学生はその後も希望者を中心に実施。



○日々の継続的な学習と報告

子ども一人一人の学習等の様子や内容は毎日記録して月末に在籍校に報告をする。(別紙：在籍児童生徒の学習等の記録報告例 (K 中学校 3 年生の例) 参照)

○保護者や子どもの希望がある場合は模擬テストを受験

9 月 23 日中学 3 年女子 (桜林高等学校会場)

9 月 24 日、25 日中学 3 年男子 (ペガサス教室内受験)

9 月 28 日中学 2 年女子 (ペガサス教室内受験)

(3) 不登校児童生徒の教育ニーズとフリースクール等の現状に関する課題

【支援ニーズ調査概要】

アンケートによる調査を行う。子どもへのアンケート調査は面接形式とし、一つ一つ説明を加えながら回答を書いてもらう。

アンケート項目

1 ペガサスに通うことに決めたのはなぜですか。(複数回答可)

- a. 親に言われたから。
- b. 見学して通えそうと思ったから。
- c. 静かでほかの人と話すことが少なそうだったから。
- d. 一人でも勉強できそうだから。
- e. 特に理由はない。

2 ペガサスに通っていてよかったことは何ですか。(複数回答可)

- a. 勉強や困りごとがあれば聞けること。
- b. 勉強がわかるようになったこと。
- c. 気持ちが明るくなったこと
- d. 家でリラックスできるようになったこと
- e. 家族と過ごす時間が楽しくなったこと
- f. 友だちとの関係がよくなったこと
- g. 学校の先生との関係がよくなったこと
- h. 趣味などが楽しめるようになったこと
- i. 将来に希望が持てるようになったこと

j. その他

3 小学校（中学校）の次はどうしようと思っていますか。（複数回答可）

- a. 今の小学校のみんなと同じ中学校へ進学しようと思う。
- b. 今の小学校のみんなとは違う中学校へ進学しようと思う。
- c. 通信制の高等学校へ進学しようと思う。
- d. 普通高校へ進学しようと思う。
- e. まだ決めていない。（わからない）

4 ペガサスでもっとしたいことやしてもらいたいことがあったら教えてください。（記述式）

5 これからのことで不安に思っていることや悩んでいることがあったら教えてください。（記述式）

【現状に関する課題の分析】 アンケート集計は別紙2 参照

フリースクールに通うきっかけは「親に言われた」「通えそう」ということが大半だが、よかったことを聞くと「勉強や困りごとが聞ける」「勉強が分かるようになった」などいままでわからなかった勉強が相応に進んできたことへの満足感が表れている。また、「気持ちが明るくなった」「家でリラックスできるようになった」など心の変化も感じ取っている子どももいることが分かる。今後の進路については中学生の多くは高校進学を望んでおり、学習を日々進めている中で高校進学に期待を持てるようになってきていることが伺われる。一方で進学後、高校へ通うことへの不安は持っているのもその辺りのケアは課題である。

（４）「不登校児童生徒の保護者のニーズに関する調査と課題の分析」

【支援ニーズ調査概要】

I. アンケートによる調査

保護者へのアンケート調査はメール及び調査用紙配付で行った。回収は 13 人中 12 人であった。

アンケート項目

1 フリースクールを選ぶときに何を重視しましたか。（複数回答可）

- a. 学校の学習内容が学べるか

- b. 体験活動などたくさんの子供とコミュニケーションする機会があるか
- c. 心理相談できる職員(カウンセラー)がいるか
- d. 学校との連携ができているか
- e. 子供が気に入るか
- f. 教室の雰囲気がよいか
- g. その他

2 ペガサスに通うことに決めた理由は何ですか。(複数回答可)

- a. 学習を教えてもらえるから
- b. 出席扱いになるから
- c. 住まいから近いから
- d. 教員経験の学習指導者と心理相談の専門家がいるから
- e. 学校と連携ができそうだから
- f. 高校進学の実績があるから
- g. 子供が気に入ったから
- h. 静かな雰囲気だから
- i. その他

3 ペガサスに通うことでお子さんの様子に変化はありましたか。それはどのような変化ですか。自由に記述ください。

4 お子さんがペガサスに通うことで、学習への不安や社会へ出て行くことへの不安などが改善されたなど保護者の気持ちの変化はありましたか。どのような変化があったか教えてください。(記述)

5 ペガサスに通ってよかったと思うことは何ですか。自由に記述ください。

6 ペガサスに決めるまでにいろいろなフリースクールをご覧になったり、お調べになったりしたと思いますが、フリースクールに望むことは何ですか。自由に記述ください。

7 お子さんの学習状況をどう思いますか。(複数回答可)

- a. 満足している。
- b. 学校へ行っている子供たちと同じように学力が身についてきていると思う。

- c. 学習の遅れが少なくなってきたので学校への復帰ができる気がする。
- d. 学習習慣が身について、進学を意識できるようになってきたと思う。
- e. 少しずつでも学習に取り組めていて不安が減った。
- f. フリースクールに行っても学力は身につけていない。
- g. その他

8 お子さんが学校へ戻ろうと思った時に、学校がどのような状況であれば戻ることが可能になるとおもいますか。

9 小中学校卒業後の進路についてどのように考えていますか。

- a. 今の小学校のみんなと同じ中学校へ通う予定
- b. 今の小学校のみんなとは違う中学校へ通う予定
- c. 通信制の高等学校へ進学する予定
- d. 普通高校へ進学する予定
- e. まだ決めていない（わからない）

10 これからのことで不安に思っていることや悩んでいることがあったら教えてください。

【現状に関する課題の分析】 アンケート集計は別紙3 参照

フリースクールを選ぶときに重視したものは何かという質問に対し「子どもが気に入るか」は当然のことながら「学校との連携ができているか」が同じように最も多くなっている。次に学校の学習内容が学べることが選ぶときの観点となっている。学校を長期に休んでいることを考えると義務教育段階での学習は重要な要素の一つになるのは当然である。

親から見た子どもの変化であるが、自由記述の形をとっているので内容は様々ではあるが、学習面での変化はもちろんであるが、「明るくなった」「落ち着いた生活ができるようになった」「不安な気持ちを言葉にできるようになった」など精神面での変化が多くみられようになった。一方で保護者としても子どもの変化とともに「不安がなくなった」という意見が書かれており、安心した生活空間が家庭に生まれていることがわかる。

保護者のフリースクールに対して望むことを聞くと、それぞれの保護者が期待す

ることに違いはあるが、「安心して子ども達が通える環境」「学校の代わりとなる学習（出席扱い）」といった学校へ通えなかった子どもへの支援ができる場であってほしいと思っている。

最後にこれからのことで不安に思っていることを聞いたところ「進学への不安」が一番多く出ていた。この不安を少しでもなくすようにするには、これまでの進路状況やその後の様子などを知ることのできる機会を設けることも必要になってくると考えられる。

Ⅱ．相談会の実施

12月15日（日）に相談会を行った。

初めに全体に対し、フリースクールに通っている子どもたちが実際に高校進学を目指して、一生懸命に学習に取り組んだ結果高校進学を果たし、中には大学合格を報告してくれた子どももいるという趣旨の話をする。

その後、個別の相談を受け

○不登校の現状への不安

○高校進学への不安

○現状の学習の進み具合への不安

○親としての対応への不安

など、今不安に思っていることを公認心理師や学習指導員と面談する。

在籍児童生徒の学習等の記録報告例（K中学校3年生の例）

K中学校 3年 S. K

	月・日	曜日	入室時刻	退室時刻	活 動	備 考
1	9月2日	月	13:10	15:35	国語「高瀬舟」学校で使用しているワークを使い。読み取り問題を解く。数学「根号を含む式の計算」学校で使用しているワークを使い根号を含む計算問題やその応用問題、入試問題に挑戦をするコーナーなど様々な問題を解く。内容はよく理解できており応用問題も解けていた。社会（歴史）市販の問題集を使って学習する。「第1次世界大戦と日本」「大正デモクラシーの時代」「世界恐慌と日本の中国侵略」などの内容を進める。	
2	9月3日	火	13:10	16:00	英語、市販の問題集を使って学習を進める。「Program 3」make + 目的語 + 動詞の文について学習する。社会（歴史）市販の問題集を使って学習を進める。日露戦争、韓国併合と辛亥革命、第1次世界大戦、第1次世界大戦後の世界の動き、アジアの民族運動、社会運動の高まりなどについて練習問題を解き、答え合わせをして間違えたところは解説などを読んで確認する。理科、市販の問題集でデスト範囲の学習をする。物体の運動と力、仕事などに関する練習問題を解く。	
3	9月4日	水	13:00	14:30	理科「力学的エネルギー」「エネルギー、科学技術、放射線、プラスチック」に関連する問題練習を進める。少し難しいところは解説を加え理解できるようにする。数学「平方根」「近似値と有効数字」「2次方程式」概ね理解できているが、文章題を読んで立式するまでがスムーズでないところは説明を加える。	

4	9月5日	木	11:00	15:30	期末テストを実施する。 1時間目：国語のテストを実施する 2時間目：理科のテストを実施する 3時間目：英語のテストを実施する 4時間目：技術・家庭のテストを実施する	当日厳封した期末テストを受けとる
5	9月6日	金	13:00	15:45	期末テストの続きを実施する。 1時間目：社会科のテストを実施する。 2時間目：数学のテストを実施する。 3時間目：音楽のテストを実施する。 4時間目：保健体育のテストを実施する。	担任の先生が夕方受け取りに見える
6	9月9日	月	13:10	15:50	数学「二次関数」変域と変化の割合についての学習をする。基本的な練習問題を解いた後、応用問題を解く。やや複雑な問題でも変化の割合$=y$の変化量$\div x$の変化量の式のあてはめて考えれば解けることを解説する。国語「故郷」題材に出てきた新出漢字や読み替えの漢字の読みの練習問題を解く。「漢字2漢字の造語力」題材に出てきた新出漢字や読み替えの漢字の読みの練習問題を解く。本文の内容読み取りの問題を解く。「漢字に親しもう3」題材に出てきた新出漢字や読み替えの漢字の読みの練習問題を解く。「人口知能の未来/人間と人工知能と創造性」題材に出てきた新出漢字や読み替えの漢字の読みの練習問題を解く。本文の内容を読み取る問題を解く。理科「炭素と酸素の循環」レクチャー動画を見て学習を進める。ポイントをとめたプリントを見て学習内容の確認をする。自然界を循環する物質に関する練習問題を解く。単元のまとめ問題を解く。	
7	9月10日	火	13:10	15:30	社会(歴史) チャレンジタッチの資料や問題集を使って戦後の日本を中心に学習を進める。「占領と日本の民主化」「冷戦とアジアの動向」「交際社会と日本」に関する問題を解く。第二次世界大戦(1939年)から現代(2011年)までの主な出来事を年表でまとめると。国語「文法について」学習する。活用のある自立語(動詞、形容詞、形容動詞)について学習する。	

8	9月11日	水	13:10	14:30	社会(歴史)「古代国家の展開」古代国家に関連する一問一答問題を解く。内容が多く細かなところまで聞かれる問題であるので答えられないところも多いが、間違ったところやわからなかったところは解説を見ながらノートにまとめていく。	
9	9月12日	木	13:25	15:35	社会(歴史)「新しい世界と日本」戦後の日本のことに関連する一問一答問題を解く。内容が多く細かなところまで聞かれる問題であるので答えられないところも多いが、間違ったところやわからなかったところは解説を見ながらノートにまとめていく。数学「2次方程式の解き方」因数分解や置き換え、解の公式などを使って2次方程式を解く練習問題を進める。「2次方程式の利用」2次方程式を利用して解く図形問題や文章問題を解く。	
10	9月13日	金	13:20	15:50	理科、通信添削教材の問題集を進める。「植物の生活と種類」「動物の生活と種類」「光・音・力・電流」「火山地震、地層」「気象の変化」「身のまわりの物質」「化学変化と原子・分子」並列つなぎの抵抗の計算方法について考える。並列つなぎでは二つの抵抗にかかる2つ抵抗の両端に係る電圧は同じであることを説明し、電流が2つに分かれることを説明する。化学式の読み方と元素記号の並びが逆であることを気づかせる。社会(地理)「世界・日本のすがた」「世界の自然環境」「世界の諸地域」などについて学習する。	
11	9月17日	火	13:15	16:00	英語「Power-Up3. Reading & Writing」単語の練習をする。数学「いろいろな2次方程式」レクチャー動画を見て学習を進める。ポイントをもとめたプリントを見て学習内容の確認をする。2次方程式と因数分解、2次方程式と因数分解の計算練習を解く。「2次方程式の利用(整数)」レクチャー動画を見て学習を進める。整数を見つけた2次方程式の問題の解き方のポイントをもとめたプリントを見て学習内容の確認をする。練習問題を解く。社会(公民)「私たちと現代社会」レクチャー動画を見て学習を進める。ポイントをもとめたプリントを見て学習内容の確認をする。簡単な整理問題を解いて学習内容を振り返る。	

12	9月18日	水	13:00	14:25	英語「長文読解」長文読解問題集を使って入試で出た長文の読解問題を解く。数学「比例・反比例、1次関数、関数の応用」市販の問題集を使って練習問題を解く。1次関数のグラフによってできた図形の面積を計算する問題では少し手こずっていたようだったので一緒に解いて解き方を説明した。理科「細胞分裂、生殖・遺伝、運動エネルギー」同じく市販の問題集を使って練習問題を解く。	
13	9月19日	木	13:10	15:55	英語「長文読解」長文読解問題集を使って入試で出た長文の読解問題を解く。単語の練習をする。月、曜日、数、序数、季節、体の各部などの単語の練習をする。慣用句の練習をする。社会(歴史)「これまで学習した内容の復習」開国と江戸幕府の滅亡、立憲政治のはじまり、日清・日露戦争、日本の産業革命と文化、対象デモクラシーと社会運動、世界恐慌と日本の中国侵略、第二次世界大戦と太平洋戦争までの練習問題を解いて復習をする。	
14	9月20日	金	13:00	15:40	英語「これまでの学習の復習」市販の問題集を使い、「時制・疑問詞」に関する問題と「to不定詞・動名詞」に関する問題を解く。表現など単語熟語では知っていてうまく活用できていないところがあるのでその辺りに注意をしながら一緒に問題を解いていく。社会「戦後～現代日本の動き」通信添削教材の問題集を使って現代の日本の関係についての問題を解く。理科「電解質と非電解質」レクチャー動画を見て学習を進める。ポインントをまとめたプリントを見て学習内容の確認をする。電解質と非電解質に関連する簡単な練習問題で振り返った後、練習問題を解く。「水溶液の電気分解」レクチャー動画を見て学習を進める。ポインントをまとめたプリントを見て学習内容の確認をする。簡単な練習問題を解く。「原子の構造」レクチャー動画を見て学習を進める。	

15	9月24日	火	13:10	14:55	英語「単語や熟語」単語と熟語をまとめた冊子を使って、英語に直したり和訳したりする。難しい単語も多く、間違えたところもあるが、直したり、練習をしたりして覚えるように努力する。社会、通信添削教材の社会科学の問題集を使って学習する。「法令政治の動き」「貴族の政治」について問題を解き、答え合わせをして間違えを直す。	
16	9月25日	水	13:10	14:30	国語、問題集を使って市の読み取り問題を解く。数学、通信添削教材についていた付録の問題集を使って「2乗に比例する関数」や「値の増減」「変域」「変化の割合」などに関する練習問題を解く。	
17	9月26日	木	13:15	17:00	社会(公民)「裁判のしくみ」「司法権の独立と違憲審査権」「三権分立」などについての問題を解く。内容がかなり難しい問題で大変そうであった。英語「関係代名詞」に関する応用問題を解く。数学「立体の切り口の形」立体を決められた場所で切ったときにできる図形やその面積、体積を計算で求める。理科「原子の構造」ポインタをまとめたプリントを見ながら学習内容の確認をする。原子の構造に関する練習問題を解く。「陽イオンと陰イオン」レクチャー動画を見て学習する。ポインタをまとめたプリントを見て学習する。水溶液とイオンに関する練習問題を解く。「イオンと電離」レクチャー動画をみて学習する。ポインタをまとめたプリントを見て学習内容の確認をする。「イオンを表す化学式」レクチャー動画を見て学習する。ポインタをまとめたプリントを見て学習内容の確認をする。イオンを表す化学式に関する練習問題を解く。保護者と3者面談をする。現在考えている進路についての話をする。学校での話やこれからの学習の仕方などについて確認をする。またこれまでにペガサスで普通高校へ進学した子どもたちの進学のようすを例にフリースクールに通う子どもたちの進学について疑問や不安を聞き、少しでも解決できるように話をする。	27日の実力テストの実施依頼の電話を受ける。テストを行う順番やリスニングC Dの有無、テスト時間(英語のみ60分)など詳細な点の確認をする。

18	9月27日	金	10:50	16:00	実力テストを受ける。 1時間目：国語のテストを受ける 2時間目：数学のテストを受ける 3時間目：英語のテストを受ける 4時間目：理科のテストを受ける 5時間目：社会のテストを受ける	担任の先生がテストを受け取りに見える
19						

フリースクールに通う児童生徒の評価・評定に関するアンケート調査

令和 6 年 8 月 29 日より、学校教育法施行規則の一部改正が行われ「義務教育段階の不登校児童生徒について成績評価を行うにあたっては、文部科学大臣が定める要件の下で、不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果を考慮することができること」が規定されました。

1 不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果を考慮することができる文部科学大臣が定める 3 つの要件は

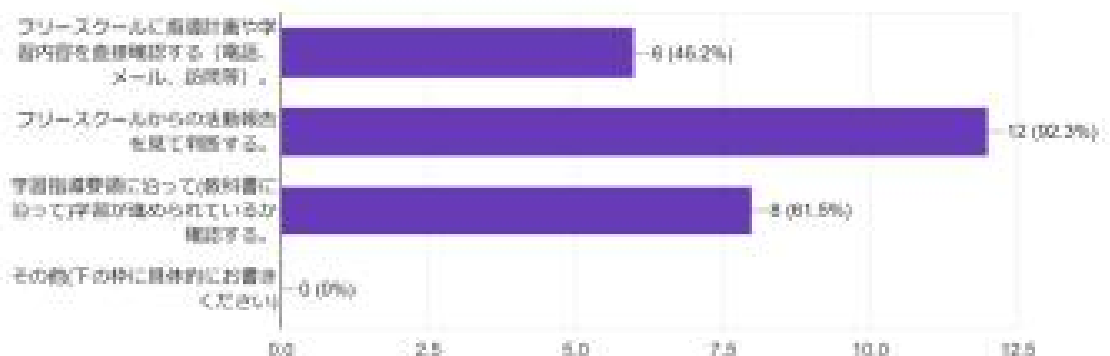
- ①「学習の計画・内容が、不登校児童生徒の在籍する学校の教育課程に照らし適切と認められること」
- ②「学校と不登校児童生徒の保護者、教育支援センター、民間団体等との間に十分な連携協力関係が保たれているとともに、学校において、学習活動の状況等の当該不登校児童生徒の状況を保護者等を通じて定期的かつ継続的に把握していること」
- ③「学校が、訪問による対面指導等により、学習の状況等の不登校児童生徒の状況を定期的かつ継続的に把握するとともに、不登校児童生徒と学校との適切な関わりを維持するよう留意していること」

ですが、フリースクールが関わる①と②の要件について貴校ではどのように判断していますか（判断しようと考えていますか）。

(1) ①についてどのようにして判断していますか（判断しようと考えていますか）。

（複数選択可）

- a. フリースクールに指導計画や学習内容を直接確認する（電話、メール、訪問等）。
- b. フリースクールからの活動報告を見て判断する。
- c. 学習指導要領に沿って(教科書に沿って)学習が進められているか確認する。
- d. その他(下の枠に具体的にお書きください)



(2) ②についてどのようにして判断していますか（判断しようと考えていますか）。

(複数回答可)

- a. フリースクールに直接連絡を取り把握する(電話、メール、訪問等)。
- b. フリースクールからの活動報告で把握する。
- c. フリースクールで行っている独自のテストなどの点数で把握する。
- d. フリースクールで行う学校の定期テストやワークテストで把握する。
- e. その他(下の枠に具体的にお書きください)



その他の回答

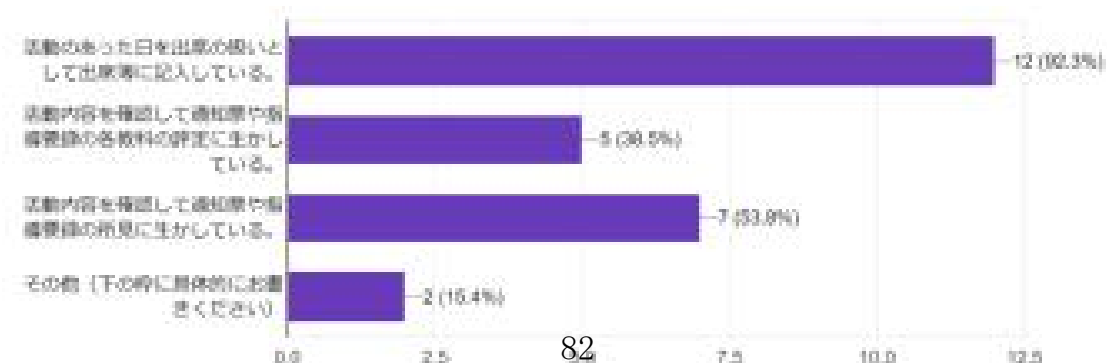
○学校内で行われていない場合「テストの点数＝本人の力」と評価していくことは難しく、参考点とせざるを得ないと考えていますが、力の概要を知る上で有効であるとも考えています。

○生徒の学習した資料等を確認する。

○フリースクールと中学校が何らかの法オフでやりとりをする中で、本人の様子、保護者の希望を共有しながら、中学校の学習進度に沿った形で学習を進めていただき、在籍中学校の定期テストをフリースクールで/定期テストのみ在籍中学校に受けにくるのいずれかでできれば理想。

2 現在ペガサスでは、毎日の児童生徒の活動報告を月末にメールでお送りしていますが、その報告はどのように活用していただいていますか。(複数回答可)

- a. 活動のあった日を出席の扱いとして出席簿に記入している。
- b. 活動内容を確認して通知票や指導要録の各教科の評定に生かしている。
- c. 活動内容を確認して通知票や指導要録の所見に生かしている。
- d. その他（下の枠に具体的にお書きください）



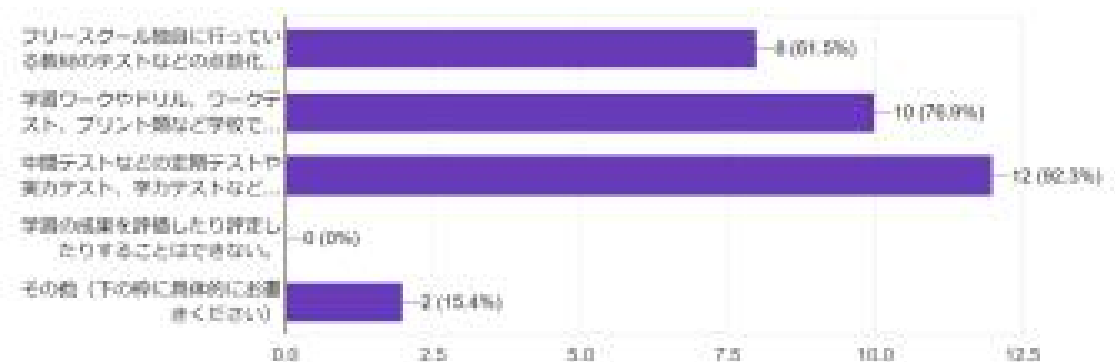
別添 1

その他の回答

- 本人の活動状況の確認を把握する。
- 最後の選択肢まで円滑にいけるのが理想。
- 令和6年度においては、12月現在で、選択肢aに関しては実施をしております。b、cに関しては実績はありませんが、後期の評定算出や所見の作成の参考にさせていただくことを検討させていただきます。

3 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として表したりするために、国語、社会、算数・数学、理科、英語については、フリースクールからどのような情報を提供することが必要と考えていますか。(複数回答可)

- a. フリースクール独自に行っている教材のテストなどの点数化された情報。
- b. 学習ワークやドリル、ワークテスト、プリント類など学校で他の児童生徒が行っている教材の提出。
- c. 中間テストなどの定期テストや実力テスト、学力テストなど学校で行っているのテスト。
- d. 学習の成果を評価したり評定したりすることはできない。
- e. その他(下の枠に具体的にお書きください)

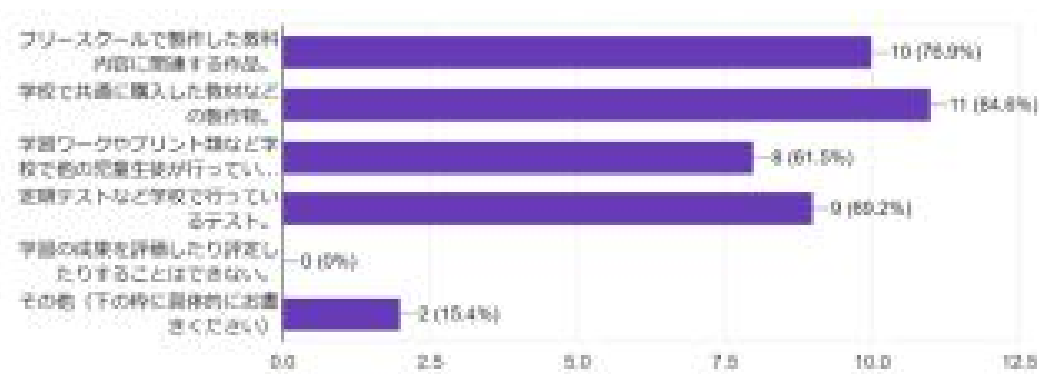


その他の回答

- 1(2)で述べた通りです。
- フリースクール独自に行っている教材の学習内容と到達度が分かる情報が必要であると考えます。
- 選択肢aは、中学校での進度・難易度、学習指導要領に沿ったものであれば可。
- フリースクールでやっている内容を確認するために、どのようなことをやったのか、教材などの提出をお願いしたいです。

4 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として表したりするために、図工・美術、技術・家庭、音楽、体育については、フリースクールからどのような情報を提供することが必要と考えていますか。（複数回答可）

- a. フリースクールで製作した教科内容に関連する作品。
- b. 学校で共通に購入した教材などの製作物。
- c. 学習ワークやプリント類など学校で他の児童生徒が行っている教材の提出
- d. 定期テストなど学校で行っているテスト。
- e. 学習の成果を評価したり評定したりすることはできない。
- f. その他（下の枠に具体的にお書きください）



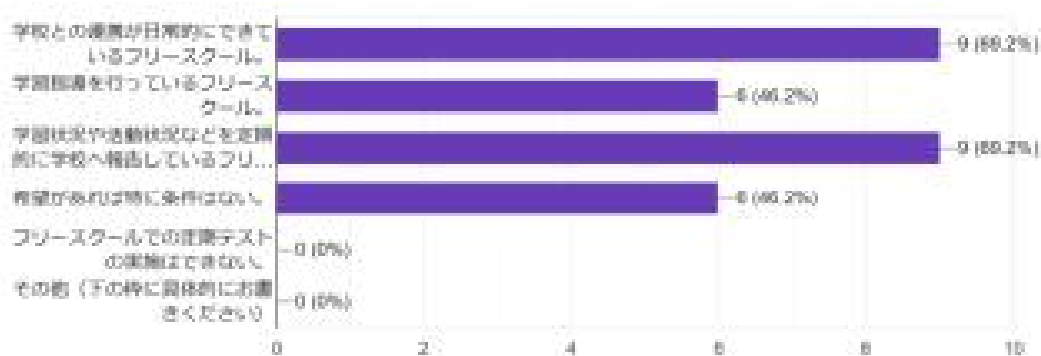
その他回答

- 全職員（教科担当）が実施しているわけではないが、不登校生徒を対象に特別に課している課題がある場合、その提出。ほとんどの場合、登校している生徒の課題より平易で提出もオンラインのため取り組みやすいと思われる。
- 選択肢 a は、上記 3 に同じ。作品を制作しない技能教科（音楽・体育）については、適切に評価をすることが難しいように感じる。
- フリースクールで技能教科の内容ができるのであれば行っていただきたい。

5 保護者や児童生徒からフリースクールで中間テストや期末テストなどを受けたいと希望があった時、どのようなフリースクールであればフリースクールでの実施が可能ですか。（複数回答可）

- a. 学校との連携が日常的にできているフリースクール。
- b. 学習指導を行っているフリースクール。
- c. 学習状況や活動状況などを定期的に学校へ報告しているフリースクール。
- d. 希望があれば特に条件はない。
- e. フリースクールでの定期テストの実施はできない。
- f. その他（下の枠に具体的にお書きください）

別添 1



その他回答

- テスト日以降であれば問題を渡して受けることは可能ですが、参考点として組み込むことになる。
- 在籍中学校のテストであれば。

6 学校教育法施行規則の一部改正が行われ不登校児童生徒について成績評価を行うにあたって欠席中に行った学習の成果を考慮することが規定されましたが、県内には多くのフリースクールがある中、成績評価をするにあたって今後どのようなことを望みますか。（複数回答可）

- a. 学習の計画・内容が、市内学校の教育課程に照らし適切と認められるフリースクールを示すなど市としての基準を示してほしい。
- b. 市内のフリースクールで行われている内容がどのようなものなのかをわかるような資料を市として調査してほしい。
- c. 特に望むことはない。
- d. その他（下の枠に具体的にお書きください）



その他回答

- フリースクールが増えるほど、フリースクールとしての学校との信頼関係が重要であると考えている。
- 学習内容・進度について、フリースクールと在籍中学校で連携が取れていれば。

7 フリースクールに通っている児童生徒の学習の成果を評価したり、評定として表したりするために、学校とフリースクールとがどのような連携体制をとっていくことが必要と考えますか。(自由記述)

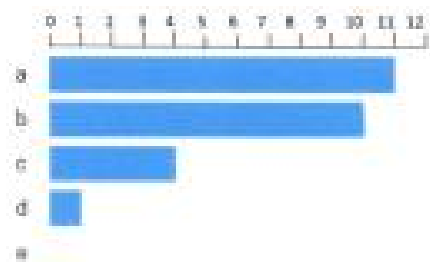
- 現在、保護者と連絡はとれているのですが、本人と話が出来ていない状況です。本人の考えなどは保護者を通じて連絡をとっています。何を勉強したのかは、本人の記録として文書でいただいているのですが、できたことを確認はできてはいるものの、どのくらい躓いて進めたのか、どんな点に躓いているのか、1つの課題に対して時間はどのくらいかかったのかなどを知れるといいなと感じたところは正直ありました。
また、本人が学校へ足が向かないので、本人と話がオンライン等でもできるといいなと感じたこともあります。
- 活動の様子を定期的に学校へご報告いただいたり、学校側も担任が様子伺いに参るなどして、連携体制を密にとっていくことが必要だと考えます。
- フリースクールにおける学習評価（その根拠となる記録）を学校に提示していく。また、進路指導についても連携し、進学後の生活も見通した共通の認識を持って行く必要があると思います。
- 定期的に当該児童の活動状況をフリースクールと学校とで共有すること。また、学校の学習進度や内容についても共通の認識（評価の規準の設定）が必要。
- 情報交換を密に行い、支援体制を強めていくこと
- フリースクールで行っている学習活動を成績に加味していくとなったとき、どの観点に該当する内容か明確にわかるようなものが必要である。学校間で大きなズレが出ないように、一番良いのは統一された基準に則って評価していくことだと思う。
- 出欠（開始・終わりの時間）と在籍中学校での各教科の単元、フリースクールでの学習への取り組み状況については、週1でよいので、確実に連絡を取り合いたい。
- 評定を出すために、定期テストは受験できるとよい。
- 在籍校の職員とフリースクールの職員が、成績だけでなく、本人の心の様子と希望、保護者の様子と希望を、月1で打合せできるとよい。
- フリースクールが、在籍校の分校のようになるのが理想。評価評定に加えるため、取り組んだメッセージだけでなく、取り組み内容の確認もしたいです。

児童生徒向けアンケート調査

NPO法人千葉こども家庭支援センター

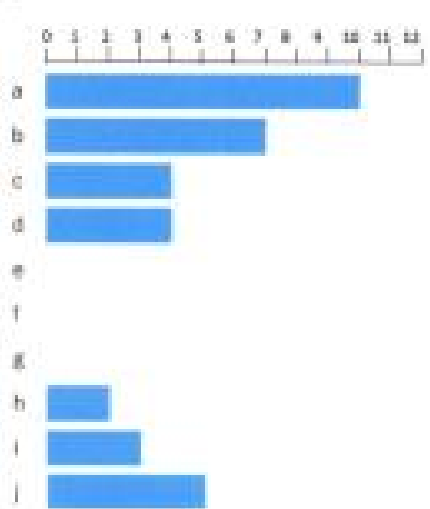
① ペガサスに通うことに決めたのはなぜですか。

- a. 親に言われたから。 1 1
- b. 見学して通えそうと思ったから。 1 0
- c. 静かでほかの人と話すことが少なそうだったから。 4
- d. 一人でも勉強できそうだから。 1
- e. 特に理由はない。 0



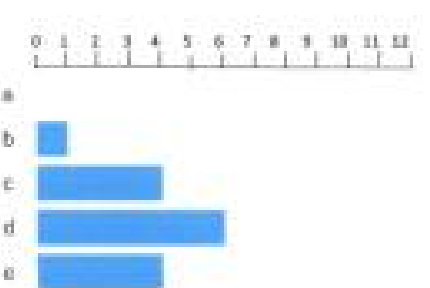
② ペガサスに通っていてよかったことは何ですか。

- a. 勉強や困りごとがあれば聞けること。 1 0
- b. 勉強がわかるようになったこと。 7
- c. 気持ちが明るくなったこと 4
- d. 家でリラックスできるようになったこと 4
- e. 家族と過ごす時間が楽しくなったこと 0
- f. 友だちとの関係がよかったこと 0
- g. 学校の先生との関係がよかったこと 0
- h. 趣味などが楽しめるようになったこと 2
- i. 将来に希望が持てるようになったこと 3
- j. その他（・学校に通わなくていい・友達ができた
・家で何もしていない不安がなくなった・出席が増えた・午後だけ学校へ行けばよかった）



③ 小学校（中学校）の次はどうしようと思っていますか。

- a. 今の小学校のみんなと同じ中学校へ進学しようと思う。 0
- b. 今の小学校のみんなとは違う中学校へ進学しようと思う。 1
- c. 通信制の高等学校へ進学しようと思う。 4
- d. 普通高校へ進学しようと思う。 6
- e. まだ決めていない。（わからない） 4



④ ペガサスでもっとしたいことやしてもらいたいことがあったら教えてください。

- 夏休み前の体験学習の種類を増やしてほしい
- 技術家庭科、保健体育、音楽の授業をしてほしい
- 図形のかき方を習いたい

別添 2

⑤ これからのことで不安に思っていることや悩んでいることがあったら教えてください。

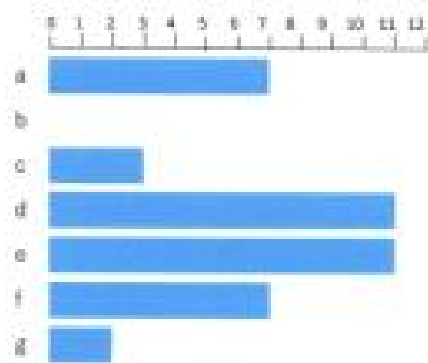
- ☐ 英語と数学が頭に入らない
- ☐ 高校受験
- ☐ 高校入試の面接ができるか不安
- ☐ 高校でうまく生活できるか不安
- ☐ 自分の力で将来自立できるのか不安
- ☐ 高校に進学して3年間通えるか不安

保護者向けアンケート調査

NPO法人千葉こども家庭支援センター

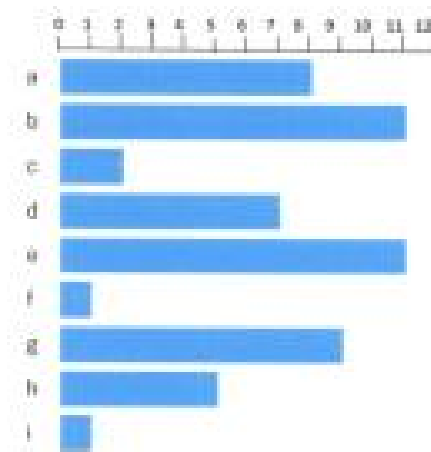
① フリースクールを選ぶときに何を重視しましたか。(複数回答可)

- a. 学校の学習内容が学べるか 7
- b. 体験活動などたくさんの子どもの
コミュニケーションする機会があるか 0
- c. 心理相談できる職員(カウンセラー)がいるか 3
- d. 学校との連携ができているか 11
- e. 子どもが気に入るか 11
- f. 教室の雰囲気がいかが 7
- g. その他(・一人でも通えるか、・家から近いかな)



② ペガサスに通うことに決めた理由は何ですか。(複数回答可)

- a. 学習を教えてもらえるから 8
- b. 出席扱いになるから 11
- c. 住まいから近いから 2
- d. 教員経験の学習指導者と心理相談の専門家が
いるから 7
- e. 学校と連携ができていそうだから 11
- f. 高校進学の実績があるから 1
- g. 子どもが気に入ったから 9
- h. 静かな雰囲気だから 5
- i. その他(・職員の人柄)



③ ペガサスに通うことでお子さんの様子に変化はありましたか。それはどのような変化ですか。自由に記述ください。

◎学校に代わる所として毎日通えるようになった

◎勉強のやる気が出てきたこと、学校にも半日ですが通えるようになった

◎学校に行けないことで後ろめたさや罪悪感のようなものがあり、どんどん落ち込んでいたが、ペガサスに少しずつ慣れいき先生がいつも優しく接してくれるのでだいぶ自信がついてきて元気になってきた。

◎家庭外で時間を過ごすことで、親との会話が増えた。自分で起床時間や登校時間を決め、自立しようという感じが出てきた。

◎緊張や不安があることに変わりはないが、それを言葉にすることができている。

◎学校を休んでしまうことに不安や罪悪感を感じていたので、ペガサスに登校して出席扱いになることで精神的に安定してきて、自分から勉強するようになった。一人での電車通学でしっかりしてきた。

- ◎乱れていた生活(昼夜逆転、ひきこもり)が整い、心も安定し、落ち着いた生活ができている。
- ◎行く場所ができて安心した様子
- ◎規則正しい生活が少しずつできてきている。勉強の習慣が身についてきた。
- ◎勉強が楽しくできるようになってきた
- ◎不登校の状態からやや脱したせいか、少し明るくなったと思う。家でほとんど勉強しなかったが、9月のテスト前に少し勉強するようになった。
- ◎中学校生活に絶望していましたが、明るくなった。電車で通学することで自信がついて一人で行動できるようになった。

④ お子さんがペガサスに通うことで、学習への不安や社会へ出て行くことへの不安などが改善されたなど保護者の気持ちの変化はありましたか。どのような変化があったか教えてください。

- ◎欠席がなくなり安心した
- ◎先生に相談できることが子も親も安心感につながっている。
- ◎子どもはがんばろうと前向きな気持ちになれたと思う。
- ◎不登校の子の進学については親は何も知らなかったため、このまま中学になれば内申が欠席や授業に出ていないため付かない不安や高校でどうなるのだろうと思って来たが、ペガサスから高校受験もできると聞き不安がなくなり、元気になってきたわが子を見て今は大人になったときこの子は大丈夫だと思えるようになった。
- ◎学校に代わる「学習する場」ができたことで、ただ学校を休んでいるのではないのだという安心感で気分が楽になった。人とかかわりに消極的な子なので、少人数で数人の先生と人付き合いを子どものペースでできているので、引きこもらず良かったと感じた。この生活が長く続いてもうちはうちなのだという心構えのようなものができたと思う。
- ◎ペガサスに行ったときに子どもがどんな気持ちになるのか聞いてみることで子どもの状態を考えることができた。子どもが一人で通える状態であることに安心する。
- ◎中学に行けていなかった時期はどんどん勉強が遅れていくのが親子で不安だったので、落ち着いて学習できるペガサスに通ってくれて安心できた。
- ◎みんなと同じであることが親にとっては安心で、〇〇であるべき、〇〇でねば のようなべきねばの考えからいろいろな生き方があってもよい、子どもの人生なのだから本人が決断することを見守ろうと思うようになった。
- ◎規則正しい生活ができるようになったこと。学校との関係、学習のことなどの不安が改善された。
- ◎自転車で駅まで行き、電車に乗って一人で通うことができるようになって成長を感じ、少し安心するすることができた。習慣になってきているのが親として嬉しい。
- ◎子供が明るく通えていることで安心して送り出せる。

◎これまで不登校状態であったが、ようやく行き場ができたことでやや安心した。ペガサスに通う前は特に事態が好転せず、何をしたらよいか分からなかった。

◎学校がつらいと言い出した時、フリースクールの存在を知らなかった。勉強の遅れだけでもなくなれば本人の気持ちも楽になると思い、親が教科書を読んで教えていた。ペガサスに通うことで学校のテスト範囲に合わせて自分で学習を進めるようになり親が子どもの学力の全責任を負わなくてよかったので、気持ちも時間も楽になった。

⑤ ペガサスに通ってよかったと思うことは何ですか。自由に記述ください。

◎欠席がなくなり安心した

◎子どもが安心して通えること

◎子どもがペガサスの先生方をとても信頼していて、親は勉強のことは一切言わなくても自分から自分のペースで勉強をし、学校も出席扱いになり、校長先生も協力してくださり、そんないろいろなことが子どもの自信になってきたこと

◎まず、家の外での子どもの居場所ができてよかった。先生方がとても優しく接してくれるので、子どもも親も安心できる。小・中学校と徒歩で行き来できるので様々な物理的なやり取りがよりスムーズに進みストレスがない。親が子どもの心配事を専門家に相談できるので気持ちが楽になれてよかった。

◎勉強をする時間がる。入室退室の連絡メールが届くので安心できる。自分で決めて自分で勉強できている。

◎自分のペースで勉強できるところ。出席扱いにしてもらえたり、定期テストが受けられるところ。静かなところ。

◎落ち着いた環境の中で自分のペースで学習できる。学校外の居場所があること。

◎子どもが自分の居場所だと安心しているのがわかるので親もいろいろな不安がなくなった

◎家から出られるようになり行く場所ができて本人も嫌々ながら頑張っていること。生活にメリハリがついてきたこと。家から出る時間があることで親のストレスも減った。

◎学校へは行けなかったが、ペガサスへは休むことなく通えている。

◎他人とのコミュニケーションが難しい娘にとって、とにかく通えていること。ペガサスで勉強できること。通えば出席日数として認められること。

◎学校と家以外の環境で毎日家を出て外の空気を吸いながら通学して学習を続けることで本人の自信になったこと。

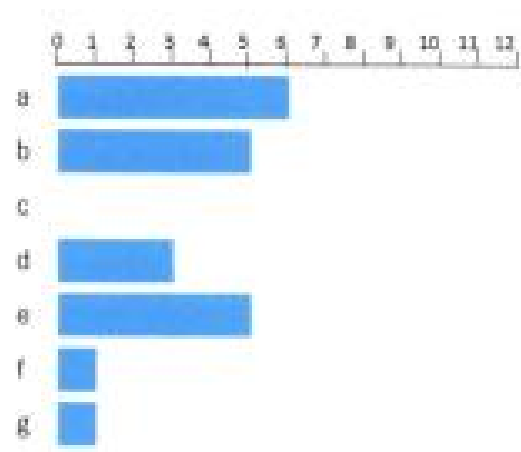
⑥ ペガサスに決めるまでにいろいろなフリースクールをご覧になったり、お調べになったりと思いますが、フリースクールに望むことは何ですか。自由に記述ください。

◎子どもが安心して通える。子どもにより学校へ行けない理由が違うので、居場所としての、学ぶ場にしたい等様々なスタイルのフリースクールがあることで選択できるとよいと思う。

- ◎安心できる場、本人の気持ちに寄り添ってくれる場
- ◎うちの子どもの場合、学校がなくなっただけで塾は本当は辞めたくなかった、勉強はしたかった、ちゃんと勉強はしたいと言ったので、ペガサスのように教育委員会や学校に認められている所だと、子どもが学校に行けない罪悪感を少しでも感じなくていいと思えること。子どもが元気になれること。
- ◎子どもが安心して通うことができる雰囲気。親子ともに罪悪感を持ってしまいがちなので、出席日数へのカウントができること。学習面では学習の基礎固めができればよいと思う。
- ◎いじめがないこと、少人数、フリースクールの職員が子どもの発達やいじめや学校問題、子どものトラウマや PTSD などに新しく深い理解があって対応できること、子どもの安全、フリースクールの職員が不登校についてできるだけ深く理解し、対応できること、勉強でき教えてもらえること。
- ◎子供が安心できる雰囲気。勉強のフォロー。学校との連携
- ◎子ども達がそれぞれ自信をつけて希望をもって次に進めるように支援してもらえる場所であってほしいと思う。
- ◎学校という縛りが合わなかった子どもに対して「こうしなければいけない」という価値観を押し付けずに静かに見守ってくれるのがペガサスのよいところだと思う。あれこれ口を出さずに子供を信じて見守るとするのが一番簡単なようで難しいことだと思う。
- ◎学校との連携、勉強、居心地
- ◎毎日子供が行きたいと思うこと
- ◎子供が通えると思うこと。苦手なコミュニケーションをとらずに過ごせるのが向いていると思う。家から通いやすいこと。
- ◎自分のペースで学習を進められること。学校の出席扱いになること。

⑦ お子さんの学習状況をどう思いますか。(複数回答可)

- a. 満足している 6
- b. 学校へ行っている子どもたちと同じように学力が身についてきてたと思う 5
- c. 学習の遅れが少なくなってきたので学校への復帰ができる気がする 0
- d. 学習習慣が身について、進学を意識できるようになってきたと思う 3
- e. 少しずつでも学習に取り組めていて不安が減った 5
- f. フリースクールに行っても学力は身についていない 1
- g. その他(・学習の遅れを取り戻せるか不安)



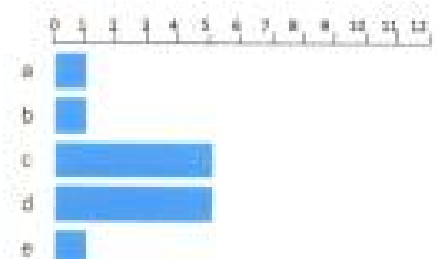
別添 3

- ⑧ お子さんが学校へ戻ろうと思った時に、学校がどのような状況であれば戻ることが可能になると
 思いますか。

◎先生方の考え方や態度
 ◎本人の気持ちをまず受け入れてくれる体制といじめのない環境
 ◎担任の先生はもちろん、校長先生の理解と教室の雰囲気
 ◎不登校の期間が長いので、中学校での過ごし方が全く分からないためそういう指導が丁寧
 にされ、クラスで受け入れられることが分かっている状況。学力の不足があると思うので、
 補助があると安心する。
 ◎学校の先生たちが子どもの発達やいじめの問題、子どものトラウマや PTSD などについて
 新しく深い理解があって対応できること。不登校について深く理解し、新しい知見に基づい
 て対応できること。家庭とのコミュニケーションをとってくれること。
 ◎卒業まであと少しなので戻らなすつもりはない。クラスに騒ぐ子や授業妨害をする子がいると
 また登校できなくなると思うが、そういう子がいないクラスというのは今の学年では無理そ
 うなので戻るのは難しいと思う。また学校そのものが苦手になってしまっているので戻らう
 と思うことはない。
 ◎不登校になったきっかけが友人関係のトラブルだったため、環境が変わらない限り(高校
 進学)復帰は難しいと思う。
 ◎そもそも学校が合わないことが分かったので、戻らなすつもりはない。
 ◎学校のトイレが改修工事されていること。黒板をノートに書き写すことが自由になること
 ◎ありのままで受け入れてくれる雰囲気。いけない場合はフリースクールと行き来できるな
 ど
 ◎集団のペースについていくのが難しいので、学校に完全に戻るのは難しいと思うが、ペガ
 サスで生活のペースを作れたことで心に余裕ができて体育祭や合唱コンクール、調理実習な
 ど学校の行事に自分から参加してみたいというようになった

- ⑨ 小中学校卒業後の進路についてどのように考えていますか。

- a. 今の小学校のみんなと同じ中学校へ通う予定 1
 b. 今の小学校のみんなとは違う中学校へ通う予定 1
 c. 通信制の高等学校へ進学する予定 5
 d. 普通高校へ進学する予定 5
 e. まだ決めていない(わからない) 1



⑩ これからのことで不安に思っていることや悩んでいることがあったら教えてください。

◎高校へ進学しても行けなくなるのではないかという不安

◎本人は進学に向けて頑張っているが、その先の就労に不安があるようだ。親も不安はあるが今できることを頑張してほしい

◎ペガサスで子どもはもちろん親も先の不安はあまりなくなりましたが、ただ、次は中学進学なので、学校かペガサスかどちらにしても子どもを見守り子どもが決めた道を応援しますが、まだ社会的に不登校やフリースクールの子の理解や選択が少ないことが親も子どもも不安になるのだと思う。

◎初めての定期テストの結果が想像していたよりふるわず本人もショックを受けていたが、学習への取り組み方が変化することなく、期末テストを受けていた。本人は高校進学を希望しているが、親から受験の仕組みについていろいろ伝えているつもりではあるが、まだ1年生なのでどれくらい理解しているか不安。本人にも進学の様々な選択肢があるので、早めに考えてほしいが、その方向性を示せるかや方法を知りたい。総合して勉強への意欲をどのようにかせたらよいか悩んでいる。

◎中学校にも通えないのではないかと思っていること。親としての対応が間違っていないかわからないこと。中学校へ通えない場合、内申書などはどうなるのか、扱いがわからないこと。自分だけで勉強がなかなかできない。このまま遅れをとり進路に影響する可能性がある。

◎通知票の評定、内申点、不登校生徒をどこまで配慮してくれるのか。

◎高校受験で不利にならないかと心配（内申点、調査書の学校での活動記録がない）

◎学校に通わないことで友達が減るのではないか。人前で話すことが苦手になるのではないか

◎まだペガサスに通う習慣がうまくできるかわからない。学力がついてくるか。将来進学して自立することができるか。

◎通信制の高校への進学を考えているが、フリースクールを知ったときのように情報力は親の検索力にかかっていると思われて、どこでどう情報収集をすればよいのかあてがえないこと